

読者によく読まれるためには、読んでわかりやすく、主張したいことが明瞭に書かれている論文でなければならないことを強調しておこう。特に最近では、何種類もの学術誌が論文を満載して押し寄せて来る。この情報洪水の中であって、読者に興味をもって読んでもらえる論文を書くことは、決してやさしいことではない。しかも、言語構造がまったく日本語とは異なる外国語を用いてである。そのためには、論文の書き方の工夫と、正しい英語で、論理のひだの一枚一枚までも明瞭に説き去り説き来る語学力が要求される。読者に、発表しようとする研究の意義を諒解させ、読者のもちうる疑問にすべて答えつつ、読者を説得しなければならない。よほどの覚悟と修練が必要であることは、疑う余地がない。

中村輝太郎

日本物理学会編 科学英語論文のすべて、初版（1983）、第2版（1999）、丸善

（傍点は吉田英生が追加）